

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 神野 公秀
幹事 鬼頭 一浩
会報委員長 池田 直樹

2020 ~ 2021年度 国際ロータリー ホルガー・クナーク 会長テーマ

Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3098回例会プログラム

[当年度=15回目；当月=1週目]

2020年（令和2年）11月2日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食 事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉

3. 開会宣言

4. 国歌斉唱

5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想

6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告

8. お祝い

(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

9. 幹事報告

10. 出席報告

11. 委員会報告

12. ニコニコボックス報告

13. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(11/9) ……

職場例会（職業奉仕委員会）

12:00～ 食事

12:30～13:30 例会・概要説明・見学

於：愛知豊明花き地方卸売市場

(11/16) ……

クラブフォーラム(ロータリー財団委員会)

卓話 「ロータリー財団プログラムについて」

講師 地区ロータリー財団委員会

委員長 朱宮 新治 様

(犬山 RC)

(紹介者 奥野 櫻子 会員)

※健康診断（職業奉仕委員会）

13:00 14. 本日のプログラム

卓話「障がい者とともに学び、生きる、
インクルーシブ社会へ」

講師 認定 NPO 法人アジア

車いす交流センター(WAFCA)

事務局長 熊澤 友紀子 様

(紹介者 新村 淳彦 会員)

15. 謝 辞

16. 点 鐘……〈会 長〉

17. 閉会宣言

13:30 18. 散 会

ビ ジ タ ー

三河安城 RC ^{てらべ}寺部 ^{やすみ}保美 様

出 席

会員総数 97名 出席免除 22名

出席義務者+免除者の内例会出席者 92名

欠 席 5名 出席率 94.56%

前々回 (10/19) の修正出席率 100%

会 長 報 告

1) 10月31日土曜日、RC カップサッカー大会第一部
の閉会式に出席してきました。



2) 2020～2021年度、第1回次期理事役員候補者指名委員会を開催しました。委員は下記のとおりです。委員会において、委員長太田宗一郎会員に決定した事をご報告します。

指名委員の発表

2021～2022年度

次期理事役員候補者指名委員の発表

(クラブ細則第3条)

委員長	太田宗一郎	(会長経験者)
委員	加藤 真治	(会長経験者)
委員	加藤 哲也	(会長経験者)
委員	吉原 孝彦	(会長経験者)
委員	鈴木文三郎	(会長経験者)
委員	杉浦 文雄	(直前会長)
委員	神野 公秀	(会長)
委員	下谷 敏朗	(副会長)
委員	野村紀代彦	(会長エレクト)
委員	鬼頭 一浩	(幹事)
委員	山下 雅則	(副幹事)

以上11名

会員の皆様には、次年度の理事役員候補者の推薦がございましたら、11月30日(月)までに、指名委員にお申し出下さい。

会長あいさつ

神野 公秀



11月に入りました。11月の異称は「霜月」。本格的に寒くなり、平野部にも霜が降りる頃であることからこの名前がついています。石川県にある兼六園の雪吊りが有名ですが、この時期から北国の庭木は、葉やムシロを使った雪囲い、雪の重みで枝が折れないように雪吊りをして冬支度が始まります。温暖化が進む昨今では、寒くなるのが少し遅くなっているようですが、11月からは「ウォームビズ」の期間です。防寒インナー、重ね着などして暖かな服装に心がけて頂き、ご自愛ください。

最近では11月15日だけでなく、11月に入ると、神社の境内や神社近くの公園で、七五三の晴れ着に身を包んだ子供を見かけるようになります。すまし顔の女の子や、元

気いっばいの男の子たちの着物姿はなんともいえない可愛さで、見ているだけで笑みがこぼれ、幸せな気分になります。七五三は、子供が無事に育ったことを祝うとともに、さらなる成長を願う行事です。地域による違いはありますが、3歳の男の子と女の子、5歳の男の子、7歳の女の子が社寺に参詣します。かつては「七五三」ではなく、3歳は「髪置き式」、5歳は「袴着の式」、7歳は「帯解きの式」と、それぞれに名前がついた祝い事でした。髪置は3歳になった子供がかみを伸ばしはじめ、袴着は5歳になった男の子が初めて袴を履き、帯解きは7歳になった女の子が初めて帯を締める儀式です。3歳、5歳、7歳を祝うのは、奇数を吉とする陰陽五行説に基づいていて、もともとは貴族や武士が行っていました。江戸時代になると町民や農民にも広まり、氏神様をはじめとする神社に参詣する風習が生まれました。11月15日を祝い日としたのは、「鬼祝日」というおめでたい最吉日にあたるためといわれています。また、5代将軍・徳川綱吉が長男である「徳松」の祝いをこの日に行ったのを由来とする説もあります。

「七五三」の名前を用いるようになったのは、明治時代のことで、東京で盛んに使い始め、戦後、徐々に各地に広まっていきました。一般家庭の子供も晴れ着をまとい、健康長寿の願いを込めた千歳飴を縁起物とするようになったのも、この頃だと言われています。

お 祝 い

11月の会員の誕生日…加藤哲也、鈴木一正、黒田栄一、岡田行永、丹羽克誌、横山昌幸、永利謙介会員。

配偶者の誕生日…霜出恵子(俱弘)、神谷登志子(光義)、堀康子(正剛)、太田典子(宗一郎)、鈴木友子(一正)、市川嘉子(裕大)、深谷眞理(嘉英)、關香(淳之)様。

結婚記念日…霜出俱弘、塚本幸夫、竹内一正、鈴木文三郎、小川耕示、佐野彰彦、盛田高史会員。

11月度入会記念日…堀正剛、山下雅則会員。

卓 話

「障がい者とともに学び、生きる、インクルーシブ社会へ」

講師 認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA) 事務局長 熊澤 友紀子様



WHOによると世界人口の15%(約10億人)は何らかの障がいを抱えており、その80%(約8億人)は開発途上国に暮らしていると言われています。途上国の多くの障がい者は教育や就職などで苦しい立場に置かれ、社会への十分な参加の機会が保障されず、結果として貧困に繋がっています。

障がい者が抱える困難は個人の身体の欠損や病気だけでなく、貧困、教育、環境、人権、ジェンダーなど多くの社会課題が複雑に絡み合っていて、一人ひとり状況が

異なります。障がいとは個人ではなく社会に伏在している、わたしたちみんなの課題でもあるのです。

WAFCA は車いすや教育の支援活動を通じて、アジアの障がい者を取り巻く社会的課題に取り組む特定非営利活動法人です。英語名の WHEELCHAIRS AND FRIENDSHIP CENTER OF ASIA の頭文字をとって、『WAFCA (ワフカ)』といます。

1999年に自動車部品メーカー株式会社デンソーの創立50周年を記念する社会貢献事業の一環として、愛知県刈谷市に設立されました。同年、デンソーが初めて海外に生産拠点を設けたタイから活動をスタートさせ、現在はタイに加えて、中国、インドネシアでも活動しています。2014年2月に所轄庁（愛知県）より『認定NPO法人』として認定されました。タイ・インドネシアでは、現地財団 WAFCAT（ワフカット）・WAFCAI（ワフカイ）を設立し、日本の WAFCA から事業委託する形で現地活動を行っています。

これまで20年間で、タイ、インドネシア、中国を中心に、約6,000台の車いす、延べ2,500名の障がい児に奨学金を提供しました。また、車いすでアクセスしやすい環境づくりを目指し、障がい児が通う学校や自宅・周辺をバリアフリー化する活動も行っています。さらに、人づくりを目的とした研修会や交流プログラムなど顔の見える活動を通じて、団体ミッション「アジア+車いす+交流」の実現に向けて取り組んでいます。

